

・・・海辺をゆっくり歩きシーパラダイスへ・・・

日時:2021年11月6日(土) 天候:晴れのち曇り 17000歩 約12Km

集合:京急金沢八景駅 9時45分 10時出発

コース:金沢八景駅→野島公園→旧伊藤博文別邸→海の公園→八景島シーパラダイス→シーサイドライン市大医学部駅

参加者:平嶋 (L) 高橋文(SL) 鈴木宏(SL) 班長=井内・吉岡・富谷

佐藤伊 勅使河原 吉越 五十嵐志 五十嵐し 常盤 平石 熊坂 大平 小野里 青松 熊島 佐藤繁 斉藤優
深瀬 中村年 小林 山内 伊藤美 小島 平林勝 桑原 澤 吉田正 山口 灘波 土志田 望月 新井 篠
高橋吉 川合 内田 小嶋 網谷 計41名

コロナ感染者の急減を受け、久しぶりに40人を超える例会となりました。さすがこれだけ多くの会員が集まると、リニューアルなった金沢八景駅も狭く感じられます。この駅舎改築工事で、シーサイドラインが京急金沢八景駅と直結して便利になりました。駅を出た目の前がすぐ平潟湾なので、朝はひんやりと感じられますが、ストレッチが終われば硬い身体もほぐされ降り注ぐ暖かな陽の光に包まれ、足取りも軽くまずは野島公園を目指します。その名もゆかしい「夕照橋」は、広重も描いた「野島の夕照」として江戸時代から知られた名所。海拔57mの野島の山頂には、まるでUFOが降り立ったような形をした展望台があり、見渡す限り360度の絶景が楽しめます。この広場でランチタイムとなりましたが、上空には例のトンビが輪を描き我々を狙っていたものの、幸い各ベンチは樹の下にあるので被害は出ずに済みました。この日のもう一つの目玉は八景島シーパラダイス、土曜日とあってか園内は家族連れや若いカップルで賑わっていましたが、そこに突然シニアの団体が押し寄せたせいか、我々が何となく浮いているような気分でした。何かイベントでもあったのか動物の着ぐるみが園内を“徘徊”していましたが、その相手をしている会員もいて、皆さんシーパラを楽しんでいました。この時期には穏やかな青空に恵まれて、秋の一日を十分満喫することができました。

<フォトレポート 小島>



<野島公園の展望台下で全員集合。UFOに乗った異星人に上から見つめられているようで・・・>



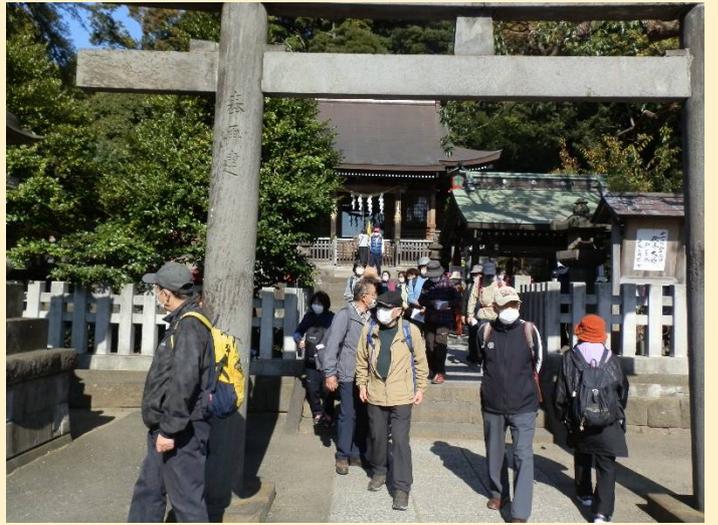
朝の金沢八景駅。デッキが狭く感じるような人数です。



出発時に4班に分かれたメンバーの顔と名を確認。



海が近いせいか朝の日陰では肌寒さを感じます。



無事故を祈ってまずは瀬戸神社にご挨拶。



海浜マンションが目立つ波一つない平潟湾。



若い頃はここでボート釣りをしたものです。



琵琶島神社で熊坂さんのストレッチから。



平嶋Lよりコース説明。(SL=高橋、鈴木宏)



新会員紹介。網谷(左)小嶋(右)の二人。



シーサイドライン下を野島目指してスタート!



のんびりとボート釣り。今の時期はここでハゼが釣れる。



気持ちの良いシーサイドウォークコースです。



夕照橋。令和の広重はカメラ?



白い欄干が眩しい新しかった橋。歩道も広くなった。



野島公園への案内がある。



船宿直営の海苔販売所で買われた人も。



BBQも再開された園内は結構混んでいました。



野島には旧横須賀海軍航空隊の掩体壕がある。



目の先には後で行く八景島シーパラダイスが。



野島と言えばこの旧伊藤博文金沢別邸。過去にも来ました。



ここからは野島山の山頂を目指す。でもこの急坂が・・・



新しくなった山頂の展望台。まるでUFOのよう。



ここも景勝地。野島の夕映・・・でも木が邪魔！



海拔57mの山頂広場でランチタイム。幸いにもベンチが空いていた。(展望台から見下して撮影)



集合写真では自己判断でマスクを外して貰いました。



食事も終わり午後の部スタート。足元の芝が気持ち良い。



来るときは急な上り坂で帰路は急階段・・・



公園の出口では猫が喧嘩中・・・犬も食わぬ？



野島運河を跨ぐ野島橋を渡る。この橋も新しくなった。



ここから海の公園へと入る。クラブ旗が浜風になびいて・・・



ここは人工海浜で松林が続く散歩道。



若者たちのビーチバレー。夏の方が画になる。



海沿いの松並木は歩いていても気持ちが良いものです。



八景大橋を渡るとそこは八景島シーパラダイス。



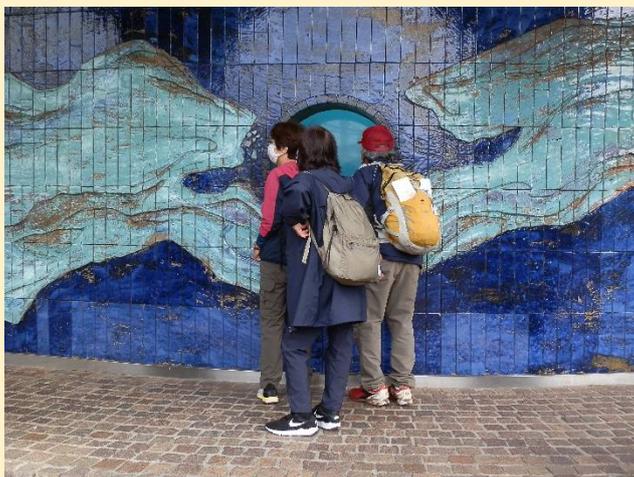
入り口では検温&手の消毒が。今やこれは常識ですね。



イベント広場では学生たちの鼓笛隊が練習中でした。



シーパラダイスには珍しいシニア軍団が行く。ボードウォーク沿いには海ファームも。土曜日なので家族連れが多い。



女子は何かあったらすぐ覗くのが習性...



シロイルカはいるか？



＜アメリカン・アンカレッジ前で全員集合。キャラクターの着ぐるみ撮影会中だったが場所を譲って貰った＞



1953年ペリー艦隊が来航したおり、この小柴沖が気に入りアメリカン・アンカレッジと命名した。



やや？令和の「黒船」が来た！（乗っているのはペリーの子孫？）



着ぐるみ軍団を相手に童心に返る女子たち。



この機会に記念写真を・・・とても他人とは思えません！



ここで別れる人もいました。



マリゲートを渡り園を振り返る。



こうしてシニアのシーパラは終わり。



この辺りは岸壁釣りのメッカとなっています。



ここで佐藤伊さんのクールダウンで締めた。



帰りはシーサイドライン市大医学部駅から。



皆さんお疲れ様、自宅までがウオークですよ。

<今日の一言>

この日の集合写真では自己判断でマスクを外して貰いましたが、やはり皆さんの表情が見えて良かったと思います。まだまだ安心はできませんが、これからインフルエンザの季節を迎えることにもなるので、まだまだマスクは外せませんね。